

第5回

くまもと自治体学校



—あなたの知恵と力で、暮らしやすい自治体を—

日本国憲法で規定された国民の生存権を前線に立って保障するのが真つ当な自治体です。自治体はその権能と財政力を駆使すればどこまで出来るのかを実際に即して考えましょう。

9.2 (土) 10:00 ~ 16:00

熊本県立大学

総合管理学部棟 大演習室ほか

参加費 2,000円 (会員1,000円)

主催 第5回くまもと自治体学校実行委員会

きょうざれん熊本支部／熊本県商工団体連合会／熊本県生活と健康を守る会連合会／熊本県民主医療機関連合会／熊本自治体一般労働組合／新日本婦人の会熊本県本部／NPO法人くまもと地域自治体研究所

申込先 NPO法人くまもと地域自治体研究所

熊本市中央区神水1丁目30-7 コモン神水
Tel・fax 096-383-3531

※準備の都合上、8月25日(金)までにお申し込みください。

○記念講演 10:10~

「今日における自治とは何か、またいかにして可能か」

伊藤 洋典 熊本大学法学部教授

今日、自治体の議会に関しては投票率の低下が問題となっており、地域の住民自治にとって大きな問題となっている。この低投票率は何が原因なのか。また住民自治という観点からどのような問題を含んでいるのか。この点について考察して、その上で今日どのような自治の形がありうるかという問題に考察を進める。

議会の問題のみならず、移動社会ともいべき流動性の高い現代社会において個人や共同体の変容まで含めて考察の対象として自治の問題を考えてみたい。

○分科会 13:00~

教室1 国保の都道府県化問題を考える 【報告者：山本伸裕・木原望】

国保料が高すぎるという声があります。この国保の運営の一部を次年度から県でやることとなります。一体、どうなるのでしょうか。

教室2 9月決算議会と地域振興 【報告者：福山健氏・山本寛幸】

決算議会には、膨大な資料が配られます。そのどこを見たら良いのでしょうか。この議会でどのように地域振興と結び付けたいのでしょうか。

教室3 子育て支援と自治体の役割 【報告者：森川亜弥】

子育て支援新制度～学童保育の現状は？みんなで考えます。各自自治体の子ども医療費助成と給食費無料化についてもレポート。

教室4 若者たちが取り組む地域おこし 【報告者：野口慎吾】

熊本県内の大学による地域を志向した教育、研究、社会貢献の取り組みとして、地(知)の拠点事業が展開されています。学生や地域の若者が取り組む地域の未来を考えてみましょう。

第5回くまもと自治体学校 参加申込書

氏名				
住所	Tel. — —			
職業・所属	記念講演			
	参加		不参加	
分科会 (希望に○を)	教室1 国保	教室2 9月議会	教室3 子育て	教室4 地域おこし